

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	17-1																																
PDCA	主要事業名	介護予防・生活支援サービス事業	部課名	福祉部高齢介護課	担当	大崎																																
					内線	374																																
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 2 単位施策： 高齢者福祉																																					
	全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 229,878 千円																																					
	会計 介護保険事業特別会計 歳出科目 03.01.01.02.50																																					
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円																																					
	事業概要等	<p>事業概要： 地域のさまざまな主体が「介護予防」と「生活支援」を推進する事業です。要支援者等を対象に、従来の介護サービス事業者に加え、NPOやボランティアなどが訪問型と通所型の各種事業を行う。</p> <p>事業目的： 地域にある多様な主体による介護予防の推進と生活支援を構築する。</p> <p>事業内容： 要支援者等を対象に、多様な主体による訪問型及び通所型サービスの委託、給付、補助事業を行う。</p> <p>問題点・課題等： 訪問型サービスA（介護専門職型）、サービスB（生活支援型・課題等： 地域支え合い型）について、利用者数が伸び悩んでいる。</p>																																				
	予算額	主要事業とする理由																																				
	229,878 千円	市町村が地域のさまざまな主体と「介護予防」と「生活支援」を推進し、要支援者を中心とする軽度者の生活を支えるための主要な事業であるため。																																				
	財源内訳	得られる成果																																				
	市費	要支援者等の高齢者が、地域にある多様な主体による介護予防と生活支援のサービスを選択することができる。																																				
	65,582 千円	目標値や目指すべき状態																																				
	国費	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値	—	—	—	目標値	—	—	—	多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値				目標値				多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値				目標値			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																	
	多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値	—	—	—																																	
		目標値	—	—	—																																	
	多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値																																				
目標値																																						
多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値																																					
	目標値																																					
73,364 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値	—	—	—	目標値	—	—	—	多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値				目標値				多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値				目標値				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																		
多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値	—	—	—																																		
	目標値	—	—	—																																		
多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値																																					
	目標値																																					
多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値																																					
	目標値																																					
28,707 千円																																						
その他																																						
62,225 千円																																						
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																				
	211,046 千円	要支援者等の高齢者が、既存のサービスだけでなく、地域にある多様な主体による介護予防と生活支援のサービスを選択することができた。																																				
		成果指標																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態</td> <td>実績値</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態</td> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						令和3年度	単位	多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値	—	目標値	—	多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値		目標値																				
		令和3年度	単位																																			
多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値	—																																				
	目標値	—																																				
多様な主体による訪問型・通所型サービスの選択でき、必要なサービスが過不足なく受けられる状態	実績値																																					
	目標値																																					
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 訪問型サービスA（介護専門職型）、サービスB（生活支援型・地域支え合い型）について、利用者数が伸び悩んでいる。また、地域にある活動主体が高齢化し、次世代の人材不足も大きな課題となっている。																																				
A 今後の課題解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 訪問型サービスB（生活支援型）の支援内容を拡充し、生活支援コーディネーターを中心に人材育成を行い、利用者、支援者ともに増加を目指す。引き続き、地域にある多様な主体による介護予防の推進と生活支援を構築する。																																				
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト	ない																															
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	削減余地																																
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—																																

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用